



NEC

**WebSAM**  
IT Process Operations V1.0  
<リリースノート>

- 
- Windows、Windows Server、Microsoft Edge、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  - Linux は、Linus Torvalds 氏の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
  - Red Hat は、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  - Google Chrome は、Google Inc. の登録商標または商標です。
  - Mozilla、Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  - Apache、Tomcat は、Apache Software Foundation の登録商標または商標です。
  - PostgreSQL は、PostgreSQL の米国およびその他の国における商標です。
  - その他、本書に記載されている会社名および製品名は、関係各社の登録商標または商標です。
- なお、本書内では、R、TM、cの記号は省略しています。

#### 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェア)は、外国為替令に定める提供を規制される技術に該当いたしますので、日本国外へ持ち出す際には日本国政府の役務取引許可申請等必要な手続きをお取りください。許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談ください。

---

---

## はじめに

---

---

本書は、WebSAM IT Process Operations V1.0 の新機能の概要等について説明しています。

本書の内容は将来、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

---

## 1. 凡例

---

本書内の凡例を紹介します。

	気をつけて読んでいただきたい内容です。
	本文中の補足説明
注	本文中につけた注の説明

## 2. 関連マニュアル

---

WebSAM IT Process Operations に関するマニュアルです。これらは製品メディア内に格納されています。

また、最新のマニュアルについては製品サイトのダウンロードページを参照してください。

<http://jpn.nec.com/websam/itprocessoperations/download.html>

マニュアル名	概要
IT Process Operations リリースノート	IT Process Operations の各バージョンにおける主な変更点や既知の問題をまとめています。新しいバージョンをインストールしたり、新しいバージョンにアップグレードする前には必ずリリースノートをご確認ください。
IT Process Operations インストールガイド	IT Process Operations を新規にインストール、またはバージョンアップする場合の方法について説明しています。
IT Process Operations クライアント操作ガイド	IT Process Operations クライアントの基本的な機能と操作について説明しています。
IT Process Operations サーバ操作ガイド	IT Process Operations サーバの基本的な機能と操作について説明しています。

---

### 3. 改版履歴

---

版数	変更日付	変更内容
1	2016/6/22	第1版

---

# 目次

はじめに .....	iii
1. 凡例 .....	iv
2. 関連マニュアル .....	v
3. 改版履歴 .....	vi
1. IT Process Operations 概要 .....	1
1.1. IT Process Operations の特徴 .....	2
1.2. IT Process Operations の製品構成 .....	4
2. システム要件 .....	5
2.1. クライアント .....	6
2.2. サーバ .....	7
3. 注意事項・制限事項 .....	8
3.1. 注意事項 .....	9
3.2. 制限事項 .....	11

---

# 第1章 IT Process Operations 概要

---

IT Process Operationsは、現状のシステム運用におけるムリ・ムダ・ムラを見つけて運用改善を支援する製品です。

仮想化やクラウドの登場により、システムは複雑化/多様化し、システム運用部門の負荷は増大していく傾向にあります。運用改善を推進しようとしても、現状の運用において何が問題なのか・何を改善できるのか、を正確に把握することは簡単ではありません。

上記課題に対して、IT Process Operations は、「システム運用における作業の見える化」と「作業にまつわる操作内容の見える化」、「システム運用の標準化」といった観点で解決策を提供します。

## 1.1. IT Process Operations の特徴

IT Process Operations の主な特徴は以下のとおりです。

### ■システム運用における作業の見える化

どの作業にどれくらい時間を使っているか、どの作業が作業頻度が多いか、といったデータを数値化やグラフ化します。データを定量的に把握することが可能となり、改善ポイントの発見を支援します。

### ■作業にまつわる操作内容の見える化

作業実施の際に、どのような操作を行っていたかのデータを蓄積します。時間がかかる作業はどのような作業をしていたのか、手作業は多いのか、操作や手順に問題がなかったのかを発見することが可能となります。

### ■システム運用の標準化

作業手順書を作成・編集して管理することができます。操作履歴を基に新たに作業手順書を作成する、手順書を更新した場合には手順書の版管理が行われるといった仕組みにより、作業手順書をベースとしたシステム運用が定着することに繋がります。

また、日々の運用の中で得られた気付きをフィードバックする仕組みを提供します。フィードバックによる運用改善のプロセスを実践して、作業効率化に繋げたり、作業漏れや操作ミスを防ぐことが可能となります。

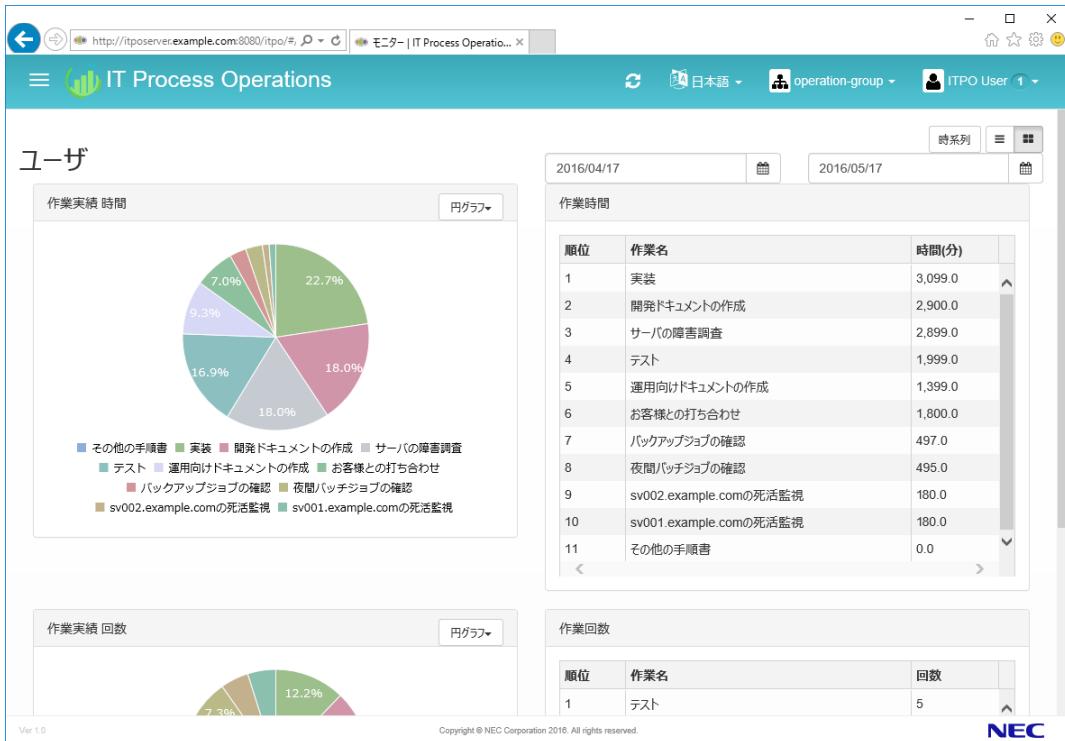


図1.1 作業実績の見える化

## IT Process Operations 概要

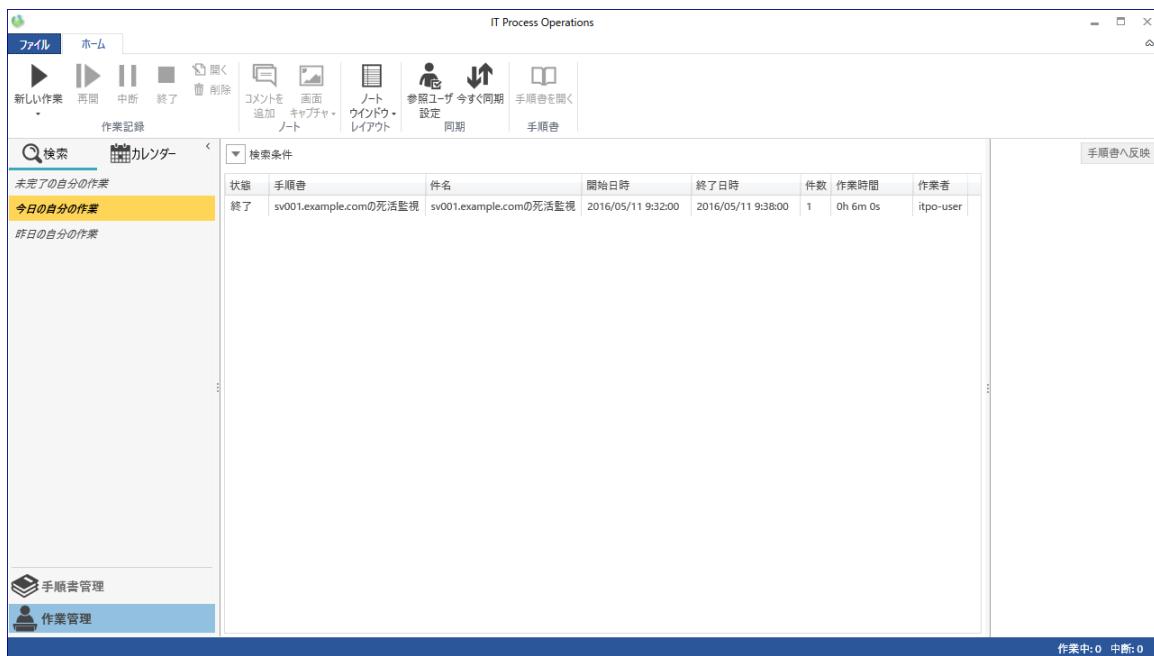


図1.2 作業管理



図1.3 手順書管理

## 1.2. IT Process Operations の製品構成

IT Process Operations の標準的な構成は、クライアントとサーバからなります。

クライアントおよびサーバの役割・機能は以下のとおりです。

機能	名称	説明
クライアント機能	IT Process Operations クライアント	作業手順書の作成・編集および、作業管理を行います。また、クライアントの各種データをサーバと同期する機能を有します。 運用者が作業を行うパソコンやノートPCといった作業端末にクライアントコンポーネントをインストールして利用します。
サーバ機能	IT Process Operations サーバ	クライアントからの各種データを一元管理して、数値化やグラフ化します。また、作業手順書を一元的に管理する機能を有します。 サーバにサーバコンポーネントをインストールし、運用リーダーは作業端末からブラウザ経由でサーバにアクセスして利用します。

システムの概要図は以下のとおりです。

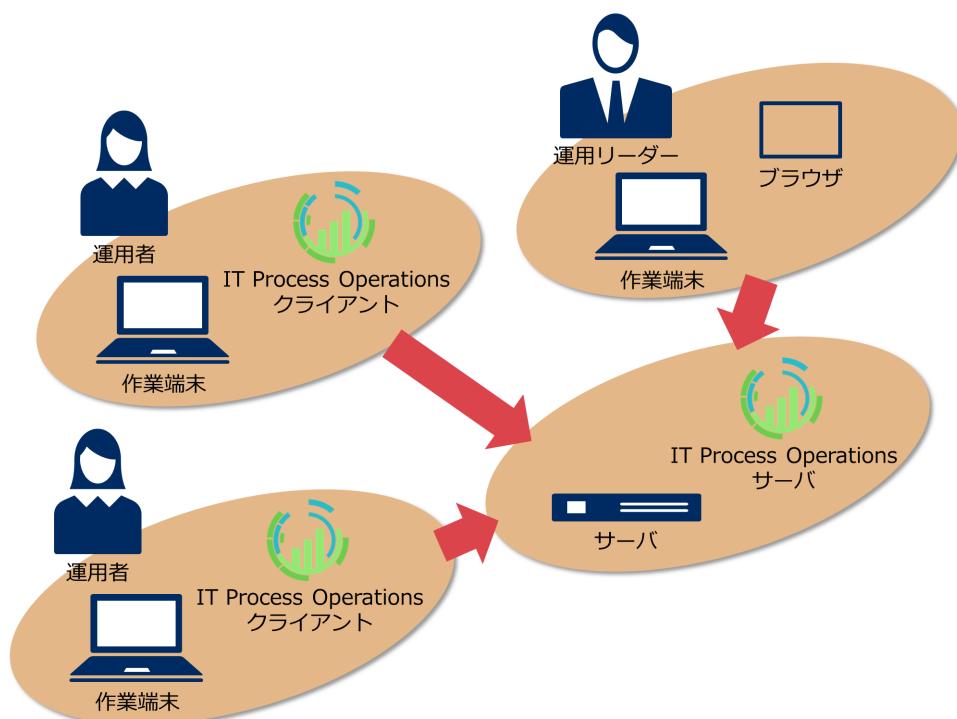


図1.4 システム概要図

---

---

## 第2章 システム要件

---

---

本章では、本バージョンにおけるサポートプラットフォームおよび動作環境について説明します。

---

## 2.1. クライアント

---

クライアントの動作要件は以下のとおりです。

CPU	■ 2コア以上
メモリ	■ 2GB以上
ディスク容量	■ 10GB以上
オペレーティングシステム	■ Windows 7 SP1(32bit, 64bit) ■ Windows 8(32bit, 64bit) ■ Windows 8.1(32bit, 64bit) ■ Windows 10(32bit, 64bit) ■ Windows Server 2008 R2 ■ Windows Server 2012 ■ Windows Server 2012 R2
必須ソフトウェア	■ .NET Framework 4.5.2以上

---

## 2.2. サーバ

---

サーバの動作要件は以下のとおりです。

CPU	■4コア以上
メモリ	■4GB以上
ディスク容量	■5GB以上
オペレーティングシステム	■Windows Server 2008 R2 ■Windows Server 2012 ■Windows Server 2012 R2 ■Red Hat Enterprise Linux 7.1
必須ソフトウェア	■Java SE Runtime Environment 8 ■PostgreSQL 9.3以上 ■Apache Tomcat 8
対応ブラウザ	■Internet Explorer 11* ■Microsoft Edge ■Google Chrome(動作検証済みバージョン: 51) ■Mozilla Firefox(動作検証済みバージョン: 47)

\* Windows 8.1. Windows 2012 R2環境で利用するには、Windows UpdateからKB2884101の適用が必要です

---

---

## 第3章 注意事項・制限事項

---

---

本バージョンでの注意事項・制限事項について説明します。

## 3.1. 注意事項

- 手順書管理や作業管理で管理者権限を持たないユーザ/Administratorsグループに所属していないユーザ)でキャプチャ機能を利用する場合、管理者権限で動作しているウインドウをキャプチャすることはできません。
- 手順書の印刷を行うときにプリントドライバの集約印刷(2in1や4in1など)を利用すると、印刷ができない場合があります。本製品の2in1の印刷機能を利用してください。
- 1週間単位で集計されているデータをグラフ表示する場合、必ず木曜日を基点に表示されます。  
例) 2016/01/01(金)～2016/04/01(金)を集計範囲に指定した場合1週間毎にデータがプロットされますが、
  - 最初のポイントは2015/12/31(木)～2015/01/07(木)のデータとしてプロットされます。ただし、Y軸の値は2016/01/01(金)～2016/01/07(木)での集計値となります。
  - 最後のポイントは2015/03/31(木)～2015/04/07(木)のデータとしてプロットされます。ただし、Y軸の値は2016/03/31(木)～2016/04/01(金)での集計値となります。
- 作業管理で「作業中の画面を自動的にキャプチャする」をオンにした場合、マウス操作で押下したボタンに対応して「右クリック」「左クリック」がコメント欄に記載されます。  
ただし、OSのマウス設定で「主と副のボタンを切り替える」(左きき向け)にしている場合は、マウスの左ボタン押下に対して「右クリック」、右ボタン押下に対して「左クリック」と記載されます。
- 一度認証したオーガニゼーションを途中で変更することはできません。他のオーガニゼーションで手順書を利用したい場合は、エクスポート/インポート機能を利用して手順書を移行してください。
- 作業実績やアプリケーションの利用実績の時間/回数の表において、同じ値の場合でも異なる順位として表示されます。また、10位以内の項目のみを表示するため、同率の項目が複数あると、表内に表示されない場合があります。
- 本製品はデジタル署名が付加されています。このため、アプリケーションの有効性を確認するためにCRL(証明書失効リスト)のダウンロードが行われます。インターネットに接続されていない環境でご利用される場合、タイムアウトが発生するまで待ち合わせるため、起動時や作業管理画面を初めて開いたときに時間がかかる場合があります。

インターネットに接続ができない場合、以下の手順で署名検証を無効化することにより回避することができます。

1. プログラムメニューから「メモ帳」を右クリックして、「管理者として実行」を選択します。
2. [ファイル]から[開く]を選択し、次のファイルを開いてください。

32ビットOSの場合	C:\Program Files\NEC\ItpoClient\Itpo.exe.config
64ビットOSの場合	C:\Program Files (x86)\NEC\ItpoClient\Itpo.exe.config

3. configurationタグの間に以下を記述してください。

```
<runtime>
  <generatePublisherEvidence enabled="false"/>
</runtime>
```

詳細についてはMicrosoftの次の公式ページ(KB936707)をご参照ください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/936707>

- Windows 8.1, Windows Server 2012 R2でInternet Explorer 11を利用する場合、KB2884101パッチが適用されている必要があります。Windows UpdateでKB2884101を必ず適用してから利用してください。本パッチの詳細については以下のMicrosoft公式サイトをご参照ください。

<https://technet.microsoft.com/library/security/ms13-080>

## 3.2. 制限事項

---

- 一部のアプリケーションに関する操作履歴が区別されずに収集されます。
  - 同一のJREで動作するアプリケーションはすべてjavaとしてまとめられます。
  - Microsoft Edge等のUWPアプリケーションはすべてApplicationFrameHostとしてまとめられます。
- Internet Explorer 11を利用する場合、グラフの表示が描画されないことがあります。本事象が発生した場合、画面をリロードするか、またはウィンドウのサイズを変更してください。

発行年月 June 2016  
NEC Corporation 2016